

本年度の重点目標	分掌	本年度の重点目標を達成するための課・年次内での重点目標(めざす具体的な姿)	本年度の重点目標を達成するための課・年次内での具体的方策(教育活動)	評価基準
1 個別最適化を目指し、すべての生徒の学びを支える学習指導	総務課	姉妹校との国際交流を推進する。	インターネットを介して姉妹校と直接交流する機会を充実させることにより、生徒の意欲を引き出す。	・姉妹校オンライン交流の継続(R2 4回) ・国際交流活動に積極的に取り組む生徒のべ80人(R2 58人)
	教務課	個に応じた多様な学習指導を進化させ、個々の学力を最大限に伸ばす。	・習熟度別講座、少人数講座を効果的に運用する体制を確立する。 ・新しい教育課程に対応した評価の在り方に関する研究(シラバス、年間指導計画の改訂、観点別評価の徹底)を行い、年2回報告する。	・学校自己評価アンケート 「先生は生徒の学力が伸びるように授業改善に努めるなど、様々な教育活動に取り組んでいる」生徒肯定的評価85%以上を維持(R2 87.6%)、保護者肯定的評価80%以上を維持(同 83.4%) ・シラバス、年間指導計画の見直し、改定案の作成、周知 ・観点別評価についてそれぞれの教科での検討、見直し。
	進路課	多様な学びを促進する授業づくりを推進する。	・生徒個々の学習進捗に最適化された選択課題の指針を示す。 ・ICT教材などを有効に活用し、生徒の主体的な学びとリメディアルな学びを促進する。 ・入試問題研究を各教科で行い、3年次の実力考査の精度を高める。	・学校自己評価アンケート 「先生は生徒の学力が伸びるように授業改善に努めるなど、様々な教育活動に取り組んでいる」生徒肯定的評価85%以上を維持(R2 87.6%)、保護者肯定的評価80%以上を維持(同 83.4%) ・スタディサプリ到達度テストの2回実施とその結果に紐付いた運動課題の配信、習熟度別選択制課題の配信などの実施。 ・外部の入試説明会、研修プログラムへの参加、教科内での入試問題研究が行われている。また、外部模試と実力考査の分析のもとで高い相関がある。
	探究課	個々の学力の的確な把握、個別最適な学習指導、自律的な学習の促進を図る。	・年2回の授業公開と生徒授業アンケートを実施し、授業改善を図る。 ・定期教科会議(6回)を有効活用し、ICTを活用した授業力向上への提案・振返りの機会とする。 ・授業でのICT活用を推進し、生徒授業アンケートの項目の改訂により効果の検証を図る。	学校自己評価アンケート 「先生は生徒の学力が伸びるように授業改善に努めるなど、様々な教育活動に取り組んでいる」生徒肯定的評価85%以上を維持(R2 87.6%)、保護者肯定的評価80%以上を維持(同 83.4%)
	1年次	習熟度別授業、習熟度別課題を有効に活用する。	・面談(年5回)を通して、年次全体で生徒個々の学力の特徴をつかむ。 ・担任から教科面談へとつなげ、得意教科の伸長・苦手教科克服のための助言を継続する。 ・共通課題や選択課題のパターンを柔軟に設定する。	学校自己評価アンケート 「先生は、普段からよく生徒を見て適切な助言をしてくれる」生徒肯定的評価85%以上(R2 1年次 85.9%) 「先生は、生徒の学力が伸びるように授業改善に努めるなど、様々な教育活動に取り組んでいる」生徒肯定的評価85%以上(R2 1年次 86.6%) 「自分の家庭での学習状況は十分である」生徒肯定的評価65%以上(R2 1年次 50.2%)
	2年次	個に応じた指導を推進する。	・生徒個々の学習状況にあった課題を設定する。 ・習熟度別講座を提案する。	学校自己評価アンケート 「先生は、資料、説明会、面談を通じて適切な科目選択ができるように指導してくれる」生徒肯定的評価90%以上(R2 2年次 88.8% R2 1年次91.1%) 「先生は、生徒の学力が伸びるように授業改善に努めるなど、様々な教育活動に取り組んでいる」生徒肯定的評価85%以上(R2 2年次 82.8%)(R2 1年次 86.6%)
	3年次	個別添削等の取組また、スタディサプリ等の動画講座の効果的な利用も研究し、進路志望や習熟度に応じた課題や取組みを生徒に提案する。	個別添削等の取組また、スタディサプリ等の動画講座の効果的な利用も研究し、進路志望や習熟度に応じた課題や取組みを生徒に提案する。	学校自己評価アンケート 「先生は、生徒の学力が伸びるように授業改善に努めるなど、様々な教育活動に取り組んでいる」生徒肯定的評価85%以上(R2 2年次 82.8%)(R2 3年次 93.4%)

本年度の重点目標	分掌	本年度の重点目標を達成するための課・年次内での重点目標(めざす具体的な姿)	本年度の重点目標を達成するための課・年次内での具体的方策(教育活動)	評価基準
23年間を見通したキャリア教育計画に基づいた進路指導	進路課	進路実現につながる系統的なキャリア教育プログラムを構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の進路指導計画を作成する。難関大志望者向けの指導計画の作成と実践を重点化する。 ・キャリアパスポートと連動したe-portfolioを研究、作成、整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校3年間を見通した年間指導概要の作成。活動報告書作成のマニュアルを整備。 ・学校自己評価アンケート「進路相談」について、面談などできめ細かく丁寧に指導してくれる」生徒肯定的評価90%以上を維持(R2 91.0%) 「進路志望実現に向けて行われている生徒面談や保護者懇談は適切である」保護者肯定的評価85%以上を維持(同 86.3%) 「学校設定教科「キャリア」や「総合的な探究(学習)の時間」等が自らの進路設計に結びついている」生徒肯定的評価80%以上を維持(R2 生徒82.3%)同保護者肯定的評価75%以上を維持(同 79.2%)
	探究課		<ul style="list-style-type: none"> ・総探とLHRを連動して進路指導計画と連動したキャリア教育プログラムを作成する。 ・キャリアパスポートと連動させてe-portfolioを作成するためのシステムを構築する。 ・キャリアプログラムを進めていく上で、図書館を活用した授業展開を計画し、探究スキルの紹介やワークシートの提供を通して探究学習を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校自己評価アンケート「学校設定教科「キャリア」や「総合的な探究(学習)の時間」等が自らの進路設計に結びついている」生徒肯定的評価80%以上を維持(R2 生徒82.3%)同保護者肯定的評価75%以上を維持(同 79.2%) 「教科・探究活動・特別活動等に図書館の資源や機能を活用した」(教職員)(新)肯定的評価70%以上
	1年次	進路指導と連携した、一貫性のあるキャリア計画を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や行事を通して、自己理解・地域理解を促し、2学期後半の「自分のキャリア構想」へつなげるよう指導する。 ・e-portfolioと進路・キャリアファイルの併用によって、一見断片的な活動をつなげていく。 ・進路カレンダーを作り、1年間(3年間)を見通した進路指導・キャリア教育を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校自己評価アンケート「学校設定教科「キャリア」や「総合的な探究(学習)の時間」等が自らの進路設計に結びついている」生徒肯定的評価85%以上(R2 1年次88.5%)
	2年次	学校設定科目「キャリアⅠ」、総合的な探究の時間、LHRの連動を図る。	多様な探究活動を設定し、自分の進路を実現していく資質、能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 学校自己評価アンケート「進路相談」について、面談などできめ細かく丁寧に指導してくれる」生徒肯定的評価90%以上(R2 2年次 87.5%)(R2 1年次 91.5%) 「学校設定教科「キャリア」や「総合的な探究(学習)の時間」等が自らの進路設計に結びついている」生徒肯定的評価80%以上(R2 2年次 74.6%)(R2 1年次 88.5%)
	3年次	進路目標の達成のため、学習習慣の確立を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・M-PRIDE手帳により、毎日のスケジュール管理や目標設定等での活用を指導する。 ・クラスや教科での面談を通し、進むべき進路へ導く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「M-PRIDE手帳で、スケジュール管理や目標設定等での活用をした」年次アンケート 60%以上 ・学校自己評価アンケート「先生は、普段からよく生徒を見て、適切な助言をしてくれる」生徒肯定的評価90%以上(R2 86.4%)(R2 2年次80.2%)(R2 3年次 93.0%)

本年度の重点目標	分掌	本年度の重点目標を達成するための課・年次内での重点目標(めざす具体的な姿)	本年度の重点目標を達成するための課・年次内での具体的方策(教育活動)	評価基準
3 自律性と豊かなつながりを生み出す生活指導	生徒課	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立を図る。 ・生徒会活動の活性化を図る。 ・健康管理意識の高揚を図る。 ・校内美化の推進を図る。 ・不適応の早期発見と早期援助に努め、年次団会議等での情報共有を図る。 ・生徒の多面的な理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく元気な「あいさつ」のできる学校を目指すため、生徒会や風紀委員会等による活動を活性化させる。また、校則の改定にも着手する。 ・生徒が主体的に部活動や学校行事へ参加し、企画運営にも積極的に取り組むように促す。葦岡祭についても組織を見直し、生徒による運営を促す。 ・感染症予防の徹底を図るため、保健委員会を中心に生徒への働きかけを強化する。 ・清掃時間の変更に対応して、整備委員会を中心に校内美化への意識を強化する。 ・教職員の研修や諸活動を通じて、不適応症状や不適応状態にある生徒に対する知見を広め、教職員の生徒理解力を高め、指導力を向上させるための支援を行う。 ・開放的で相談しやすい相談体制を構築する。 	<p>学校自己評価アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会のマナーやルール・校則について、指導が適切に行われていると感じる」生徒肯定的評価85%以上(R2 87.2%) ・「部活動から満足を得ている。またはそのような生徒が多いと感じる」生徒肯定的評価85%以上(R2 80.2%) ・「葦岡祭をはじめとする学校行事に満足している」肯定的評価85%以上(R2 86.5%) ・ボランティア活動などに参加しやすいように配慮されている。生徒肯定的評価80%以上(R2 74.4%) ・「学校は、授業や行事などを行う際に、生徒の健康や安全に配慮している」生徒肯定的評価90%以上(R2 91.6%) ・「清掃やごみの分別処理など、環境を考えて行動している」生徒肯定的評価90%以上(R2 93.5%) ・生徒理解・生徒指導力を高めるための教職員の研修会を計画・実施 ・「悩んだり、困ったりした時に先生やスクールカウンセラーに相談しやすい環境が整えられている」生徒肯定的評価75%以上(R2 71.5%)
	1年次	多様性を尊重する精神を育む。自由に思考・発想できる雰囲気づくりを進める。仲間と協働する精神を育む。	授業や行事を通して、多様性を理解し、互いから学び、協働する姿勢を育成する。積極的な挑戦の機会を設け、失敗経験も肯定的に捉えさせ、次につなげさせる。	<p>学校自己評価アンケート「倉敷南高校に入学して良かったと思う」生徒肯定的評価85%以上(R2 1年次 89.5%)</p> <p>「本校には1人ひとりが尊重され、周りから受け入れられていると感じられる雰囲気がある」同85%以上(R2 1年次 83.0%)</p> <p>「私は自分に誇りを感じたり、ものごとを成し遂げる能力が身についてきていると思う」同85%以上(R2 1年次 75.4%)</p>
	2年次	生徒の自主性を伸ばすために、生徒が主体的に活躍できる場面や仕組みづくりを進める。	生徒のエネルギーがプラスの方向へと向かうように学年でのLHR等を適切に配置する。	<p>学校自己評価アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「葦岡祭をはじめとする学校行事に満足している」生徒肯定的評価80%以上(R2 2年次 77.2%)(R2 1年次 90.5%) ・「社会のマナーやルール・校則について、指導が適切に行われていると感じる」生徒肯定的評価85%以上(R2 2年次 80.2%)(R2 1年次 89.5%)
4 組織的な広報活動による開かれた学校づくり	総務課	組織的な広報活動を計画的に行う。	中学校や学習塾への訪問や広報資料配布による情報共有を計画的に行う。HP(学校紹介動画を含む)を更新し、学校案内をリニューアルする。	中学校や学習塾へ広報資料を年6回配付する。(前年度2回配付) HPの閲覧回数が前年比の1.5倍に増加する。
	教務課	教務課以外の分掌と連絡、連携を深め、チームとして仕事の分担を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等の見直しを検討し、倉敷南高校の教育活動を積極的に公開する。 ・複数回、学校説明会等に出向き倉敷南高校について情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校自己評価アンケート「本校の教育活動について、適切に情報が発信されている」保護者の肯定的回答85%(R2 86.8%) ・複数回学校説明会等に出席する。
	1年次	本校の教育活動を周知する機会の創出し、その魅力と成果の共有を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・年次通信の定期的発行 ・PTA総会、保護者懇談、進路説明会等での対面機会の有効利用 ・オンラインを利用した新たな活動報告方法の創出する。 	<p>学校自己評価アンケート「子どもたちは本校の教育目標(校訓)「自律・友愛・進取」の精神を実践し、国際化する社会に貢献・活躍できる人材の育成」を理解し、南高生らしく日々の活動に取り組んでいる」保護者肯定的評価85%以上(R2 1年次 81.3%)</p> <p>「倉敷南高校に子どもを入学させて良かったと思う。同保護者肯定的評価85%以上(R2 1年次 94.0%)</p> <p>「本校の教育活動について、適切に情報が発信されている。同保護者肯定的評価85%以上(R2 1年次 86.0%)</p>
	2年次	本校の教育活動の魅力発信することに努める。	オープンスクールで、本校生徒が中学生に倉敷南高校の魅力語る。	学校自己評価「倉敷南高校に入学して良かったと思う」生徒肯定的評価80%以上(R2 2年次 78.5%)(R2 1年次 89.5%)